

多部田の聖天様から野呂の百万本までの散策

期日平成18年11月20日(月)
 集合時間と場所
 9時30分 坂日町(東金街道)
 交差点 レストラン大和久
 バス停 坂月橋 で下車
 駐車場 白井公民館又は橋の店裏付近
 昼食は野呂百万本の
 実倉さん定にて焼そばの
 予定 会費500円 準備の都合
 がありますので早目に出欠報告の事

多部田城 上宿松崎山にあり、築城永禄7年(1564)12月、城主千葉常胤治承4年(1180)の子、四男胤信(大須賀堡)次男胤重(はねね)が築城(歴史と旅 254)に載っているが年代が合わない。ほかにもいろいろの説があるが、本当のところ分からない。石高1,250石。豊臣秀吉東征の折、徳川家康の家臣、本田忠勝、平岩親吉の家来の一部將に攻められ、天正18年(1590)に落城した。築城より26年間の短い存在である。

最福寺 日蓮宗顯本法華宗、念光院(真言宗密教)の末寺として多部田村宝光蓮寺に創建された。其の後同村宝光蓮寺の末寺として、堂前屋敷に妙満寺の末寺として建てられた。大永元年(1521)宝珠山最福寺として蓮光院日曜上人が日蓮宗として開基した。元龜2年(1571)火災にかかり、堂宇ごとく焼失。宝曆元年(1751)現在地、多部田中宿に移転再築した。山門は火災からまぬがれ、移築された歴史ある貴重なものであるが、いたみがかび多く、改修された箇所があったため、重要建築文化財からはずされてしまった。本堂内に檀沢善右衛門の位牌がある。

五社神社 天照大神外八柱が合祀されている。創建年代は不詳だが、社殿再建寛文十年(1670)とある。大晦日には斧境内の枯木など鋸を使わず、斧だけで焚木巨作り、かがり焚きを行う。この火で焼いた餅を食すると風邪などひかないという。かがり焚きのまわりに集まった氏子の皆さんは、手に手にお供の餅を持ち、除夜の鐘が鳴ると一斉に本殿に駆け上り新年の初参りをする。1月20日には今でも御歩射(おびしゃ)の行事が行われている。

聖天様 印度古来の神様で象を象徴したもので、障碍を除いて富貴を得る。また夫婦和合、子宝なども信仰されている。この聖天様は境界にあって所有者不明である。

四石仏観音安置所 平成元年6月消防小屋とゲートボール場造成の折、出土した石像仏を安置所をつくり同年9月末に追善開眼供養を行った。左から馬頭観音、中心の地藏菩薩、先背の上部に掘り出された時のさづがある。石が如鏡輪観音丈63cm元禄15年(1702)手前右が後で出土した地藏菩薩。

お天気石 むかしこの馬渡しに湧水の小さな池があった。その脇にこの石が立っていた。附近の農民はこの石の湿り具合を見て農作業の目安にしていた。ある日突然この石が無くなってしまった。長い間この石を頼りにしていた農民も困り果てていた。ところが数日たったある朝、この石が戻っていた。やれやれ良かったとまたこの石で天気巨判断し、農作業したが一向に当らず失敗ばかりするようになってしまった。以後この石は農民から見放され、忘れ去られた。

